

[illegible]

大邱に向ひ出發せり兩氏
これたる地方局救護課に移管されたの土木部に赴くべし(釜山)

東に勤務したる米人レミス、エスパーレン氏の如きは滿洲の農業に

は差し向き支店の増加を計るためと云ふ如き特殊事情より來りしものに

都督府民政部の古参なれば身體健康ならんか當然白仁氏の後を襲ふ

殊に市の一隅なり近江町附近に異
等が密集的生活をなして其の界限

に乘じて盛んに權利の轉賣を行
て奇利を占めんと願ぎ居るもの

よるの要あり

は早き手廻しとこそ申すべ

佛國交戦地帯の少年少女は 瓦斯面を被つて勉強

敵の飛行機が襲来した時の用意
瓦斯面を被つて勉強
佛國交戦地帯の少年少女は、敵の飛行機が襲来した時の用意として、瓦斯面を被つて勉強している。彼等は、敵の飛行機が襲来した時の用意として、瓦斯面を被つて勉強している。彼等は、敵の飛行機が襲来した時の用意として、瓦斯面を被つて勉強している。

四晝夜の山火事 大隈侯 經過良好

大隈侯は、山火事に遭つたが、經過は良好である。大隈侯は、山火事に遭つたが、經過は良好である。大隈侯は、山火事に遭つたが、經過は良好である。

憲兵密漁支那 人と格闘す

憲兵は、支那人と格闘した。憲兵は、支那人と格闘した。憲兵は、支那人と格闘した。

一家悉く罹病 朝鮮一佛畫家

一家悉く罹病、朝鮮一佛畫家。一家悉く罹病、朝鮮一佛畫家。一家悉く罹病、朝鮮一佛畫家。

赤痢 讀者文藝

赤痢、讀者文藝。赤痢、讀者文藝。赤痢、讀者文藝。

果敢な生命 讀者文藝

果敢な生命、讀者文藝。果敢な生命、讀者文藝。果敢な生命、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝 讀者文藝

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。



讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。讀者文藝、讀者文藝。

米國としては思ひ切つた遣り方

正當滋増の結果物價の騰貴を餘餘とした事但し是れには何れも提議に依り「不正の利を食ふ」と企てた。奸商の劣行たる事亦亦らうと云へない。茲に於て政府自ら食糧品の調面に任ぜられねばならない。

思ふ其の調面政策中最も注目すべきは「價格維持の爲を要するれば政府に於て其の全收穫を買収することをお願いせよ」といふ一項である殊まで突つて「食糧品買収問題」を徹底的に

多分述べてしまふのは

妻は病床に苦み

してハーパー、シーフバー氏を
任命せん意を洩した其後間も
なくフ氏は亦意見を公表し若し私が
長官に就職したら

◆全然報酬でなく其の代
子に飢ゑに泣く

仁用里二百三十七番上甲借助(一)
は元盛道約路工夫として日約五十鎊
を支給され内縁の妻中橋(一)と
正美(一)を養ひ居りしも何分物価

しに妻のさいは昨年十一月四日頃

は五月二十六日下院を通過して上院に廻付され

◇是で修正を加へた爲めに遂に兩院協議會となつた其の前氏は五月二十四日大統領と會見して食料局の官制を内閣した郎第一部に隨つて


産後の血の道の病にて枕を得ずなりざりしより貧しき中にも井上賴地、醫師の醫察を受けたるが何の効も無く病は重なる計りなれば度良は久米用隆師の治療を受け居るに目を重ぬるに隨つて

防止する事 妻の命も旦夕をはかり兼ねる程な

に未だ東西も知らぬ幼児が頗かりて

るをトラスト

やシンジゲートに關係ある奸商一味が黒幕となつて斯の如きは國民の自由を奪ふものである國民を統制するのであると牧園ワスキの製造に供する事だけは許さうなどの説が出たりして捲つた孫さんの末六月二十



の里涼清

議の上食料に

飛ばして食料品燃料數種の貨載を警



因果女の末路
下調市厚狹本

移徙たる者なりし然るに同人に一人は韓
 姓に親族知已同郷人(愛媛縣西宇
 和郡柳郷生)の稱する者無く故郷に
 は古稀に近き老母及び二人の弟あり
 一人は先年業務に失敗し一人は

十月間家計を維持す

狂狷抗夫の血煙

愛媛縣西宇和郡柳郷生

め(九つ)山下す(八つ)石川く

多し。一俣が、其の父を以て古に合葬すれば其の家は將來子孫繁盛せず且つ災禍重なるものと信じて死後數年目に合葬するもの多く新屍は古墳に就き敷臨み解て埋葬したるもあり又種病癰瘡等に於て死亡したるものを合葬すれば子孫に同病を發證すべしと云ふ事こそ誤りたる言也。

同く上八つの内四々は十五村の範圍で水田中人が耕け取つたので都合はんさとして悉く焼けた所を焼灰の場合に販賣つた玉木なな(二二三)川上げ(二三)の兩者が帝の塔に納むればつくり煮ひ込み二人受け取りたが故に此處に居る。

■三人を被殺す　丹波國高野郡桑名村邊大谷津(二二三)はよくいへば○が家出したのは利貞吉君吉即(三三)の妻金だといふ

和蘭の末遠祖たるに

精神に異狀を來して他人の救護を受け居る程なれば一厘とて補助を受く可きよすがも無く何處までも同じ五六人住み居れば何れども同じ返還の者多ければ又如何にもし難ければ今や傍側一家は天にも地に相する人無く食ふに物無く

老人未練の刃 名古屋市外愛知町伊豆津九段七四には先頃死した安野六次郎が赤坂七段に遺體を遺つた者が現れた。二、四吾が不服をうけたらと海九郎は作二部刀で刺り込かぬ人を殺した。

男女六人六人拾得 神岡市北郷町興行山田山三、四十四番地前所住い、大井町の吉原島長今朝吉岡七を供二十一日夜劫奪した白鳥八郎一人、大井町の東山田のい

警察放火は死刑
愛知県新居

本會主催の主旨が月陪き秋初十五の夜を期しての家族慰安清遊であり升から餘興の如きも

◆郊外活動寫眞 ◆洋樂隊演奏

等の清覺健全なものを擇みました次第。會期は九月一日の土曜日、晚餐後の午後八時に特

卷八

發觀月列車は南大門驛發、觀月會場は城東清涼里！散會後は電車にて任意解散。會費は

◇(汽車電車共費)卅五錢 ◇(蒲上以下)小兒廿錢

會員券は一兩日中發行販布。三枚以上は京日構内電話(二番宛)申込みあれば直に配達。猶ほ全市に互り卅餘箇所委託取次所を設け升

來に
會邦
士人
の瓜
外南
西送

影射と云ふて野に泉を掘りてゐる。横石水はその後金行を尹の僱して、南榮會館所蔵の銀貨を數計し、銀行の「配分表」の一席を占めてゐた。銀貨であつたが二十五日は前山大造の僱して數計せしむるに二十六日は銀行のクラブに朝野銀行員の出がゐる筈。

愛國婦人會朝
愛國婦人會朝
婦人會修養委員會

洋製

國營の安全磚
西條外務省の
四分の一の投
前二條の不安
と同じ。英國
の工場三千五
の工場に十五
して、英國の
りて、國營の
の利を配當を
當の利を配當
るの利を配當

地は優に十七
き六七回を要

[illegible]

東京 東京

○日本組合東京・城塞警察會・南木町町
○八月二十六日午前八時半日曜會堂（伊藤善壽講）
午前七時半開會（澤田の談話） 漢語教授 飯千持
八時「運信の經營」實用談話
○總公會・南木町町 八月二十六日午前八
時半（三十分）日曜會堂午前九時三十分より 遊藝

提供

[illegible]

一申込

白
 牛乳を煮て出して、王子は牛乳を、煮て、ともし
 して、其中へ生子をおとし
 二、じが着、コロツケー、牛肉を、タにて、いナ
 刺して、味をつけ、じやが着は、煮得て、し、裏面
 か、牛乳を、まぎて、煮、透る、大さき、丸め、メケン
 粉、を、まし、王子、なう、げ、パン、粉、を、つけ、へ、ット、にて
 掛け、リ、タ、メ、ノ、ミ、を、煮、へ、て、出、ロ、三、ゼ、ン、バ
 や、が、三、杯、酢、白、魚、の、魚、を、刺、め、の、條、に、傳、く、切、り
 て、鹽、にて、よく、く、水、にて、洗、ひ、か、た、し、ほ、り、て、所
 につける、後、前、の、刺、を、ま、ぎ、て、三、杯、酢、にて、和、へ、ル
 人、生、を、ま、ぎ、て、

及に吉てして面助す應大上占き地めてのす當しりの西更四は、將來に當占得既る
び胡郎今垂工の有及況すなのわ六は國五ふはの下種工に分而、其勢然空め難殺抑

[illegible]

原城黃金町
 電話二四四三番
 振替東京三二八番
 丁目
 內科眼科
 兒科
 本院
 院長 本田建義
 痔核
 痔瘻
 脫肛痔
 裂痔
 痔出血
 直腸脫
 本田醫院附屬

第八席

越後屋の猿蓑兵衛は甚五郎が大阪の影形を受合つたを聞いて「善い日、頭出来なれしませう。甚、左様でございます。何日ぞ判然とお受合は出来ません。善、然、然が立寄りまして人に申しますが大抵何日頃か伺つて参りませんと大に都合が悪うございます。甚、彼御の處は御最もですが、何うもどういふものは自分の氣に聞かれなければ仕事が悪く様に出来ません、今日にも氣が向けや三年度で死の了籠も無いが、然し



盛花家元 春道齊

乳
院病
用
國
聖
物
場
電話一〇六九番

丙七月十日辛丑
本命二黑坤取佛賊

軍防毛在

東京神田 振替東京七三四六番
東京織物仲繼店

國バテ合自慢の大寫眞
連續活劇「魔人」護る影 第九篇
魔人登場。魔人の如き魔は誰で
魔の如き魔は誰で魔の如き魔は誰で

電話八七三
第七十二回より特別提供の大寫眞
第二回ニコく大会

以に後室暇をい、午後四時申の刻小山田庄左
 妻の爲めに仇討に返る、午後六時西の刻大石

○米國エルゴ社製
○滑糖デブ君の得意 全二巻 櫻狂風堂

京城壽町
電話五七八番

肛門病診療

大塚釀造所吟製
京坂本町二丁目
發賣元
前田酒店
電話一三七番
振替口座四三五番

胃腸病
電話 一三三九二



夏^{なつ}の衛生^{せいせい}に
第一等^{だいいちとう}

美々々々

0

3

信用の厚いライオン

野 臺

寺

を使つて、朝夕



ハリマンの雄圖

世界 計畫 買収の運動

ハリマンの雄圖 世界 計畫 買収の運動

ハリマンの雄圖 世界 計畫 買収の運動

ハリマンの雄圖 世界 計畫 買収の運動



往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

往來園雅集 (五)

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸収性及同化性を併有せしめたる
ミツワ規那鐵葡萄酒

[illegible]